

物流における環境配慮

グローバルでサプライチェーン全体を見据えた物流の合理化・効率化を推進し、物流に伴うCO₂排出量の削減を推進しています。

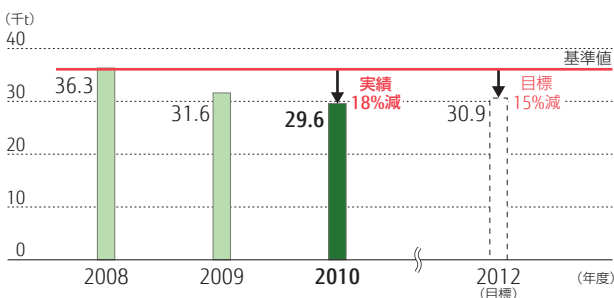
■ グローバルな「グリーン物流活動」の推進

富士通グループでは、グループ各社の物流部門が連携し、製造部門や営業部門とも協力しながら、輸送に伴うCO₂排出量の削減を推進する「グリーン物流活動」に取り組んでいます。また、お取引先とのパートナーシップを活かして、サプライチェーン全体にわたって、物流に伴う環境負荷の低減に努めています。

富士通グループは、第6期環境行動計画の「国内輸送CO₂排出量を2012年度末までに2008年度比11%削減」をめざして活動し、モーダルシフトの拡大やトラック台数の削減に取り組んだ結果、2010年度で2008年度比18%削減（物量変動・震災の影響を含む）を達成することができました。2012年度目標についても、2008年度比15%削減に上方修正しました。

また、国際間輸送CO₂排出量や海外拠点における輸送CO₂排出量の計測に着手しており、グローバルでのグリーン物流活動を推進しています。

輸送に伴うCO₂排出量推移（富士通グループ）



モーダルシフトの適用拡大

富士通では、モーダルシフトによるCO₂排出量の削減に取り組んでおり、鉄道輸送による効果的な活用や、航空便輸送から陸上輸送への切り替えを進めています。2010年度も、パソコン、携帯電話、調達部材などのモーダルシフトを進めました。

鉄道輸送の拡大を進めた結果、2011年3月、富士通は、国土交通省ならびに社団法人鉄道貨物協会が制定する「エコレールマーク取組企業」の認定を取得しました。



エコレールマーク

パソコン

2010年8月から、法人向けノートパソコンと保守部品の一部について、(株)島根富士通から東京物流センターまでの輸送手段を従来のトラックから鉄道に切り替えました。工場など関連部門と調整し、出荷時間を前倒しすることで実現しました。

調達部材

2010年5月から、海外からの輸入調達部材について、東京港から富士通アイソテック(株)への輸送手段を変更。従来の20フィートに加え、40フィートの海上コンテナもトラック輸送から鉄道輸送に切り替えました。これは、富士通が国交省の「鉄道モデル事業」に参画し、JR貨物様と共同で推進することによって実現したものです。

TOPICS 環境大臣表彰を受賞

富士通は、「モーダルシフトによる輸送CO₂排出量の削減活動」で、環境省による平成22年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰[※]を受賞しました。

今回の受賞は、富士通が「モーダルシフト」を物流会社や関連部門と連携しながら積極的に取り入れ、部材調達から製品輸送まで一貫して実現したことで、輸送CO₂排出量を大幅に削減した点が高く評価されたものです。

[※] 地球温暖化防止活動環境大臣表彰：環境省が、地球温暖化対策を推進するための一環として、1998(平成10)年度から毎年、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体をたたえるもの。

ハイブリッド車の導入

首都圏のお客様配送便・メール便として富士通専用で使用している輸送協力会社所有のトラックを、2010年11月からハイブリッド車に切り替えました。同車はエコタイヤと富士通製車載端末機器も装備しており、燃費向上によるCO₂排出量削減を実現しました。



導入したハイブリッド車

「富士通グループ グリーン物流調達基準」の策定

富士通グループは、グリーン物流に関する基本的な考え方やお取引先様へお願いする内容を示した「富士通グループ グリーン物流調達基準」を定めました。この調達基準に基づく物流活動を通じて、お取引先様とともに地球環境保全に取り組んでいきます。

WEB 富士通グループ グリーン物流調達基準
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/logistics/guide.html>